

乳酸菌Daワン・ニャン 推薦のお願い (オーダー乳酸菌のお奨め含む)



発売元 株式会社 ズーム

〒921-8172 石川県金沢市伏見新町255-606

076-280-3206

<http://www.xoom.co.jp/>

office@xoom.co.jp

目次

- ◆ ペット関連の現況
- ◆ ペット医療の現況
- ◆ アトピー犬と健康犬との腸管環境差
- ◆ ペットと乳酸菌とは
- ◆ 乳酸菌の働き
- ◆ 確実な改善へ導くには「オーダー乳酸菌」
- ◆ 症状による便検査
- ◆ サンプル提供＝取材内容の掲載（取り扱い動物病院のご紹介）
- ◆ 今後の当方の取り組み予定

1. ペット関連の現況

- ◆ ペットは、人の心を和ませたり楽しませてくれる、といった理由で人がペットとの様々なやり取りを楽しんだり、その姿や振る舞いなどを鑑賞したりする。ペットは人間の日々の生活にかかわりのある動物なので、人間の生活サイクルに対応できる動物が好まれています。
- ◆ 特に犬や猫を中心に「共に生きる」スタンスで、飼い主が「うちの子」というほど、我が子レベルの関わりです。
- ◆ 犬猫の飼育件数は、2230万頭といわれ、人間の5人に1人の割合が毎日接していることになる。…その他、生活サイクルに干渉しないペットを含めると凄い数です。

2. ペット医療の現況

- ◆ 最近のペット環境は、人間と同様の生活スタイルとなっており、**人間の病気とまったく同様**となっており、多くの症状に悩まされています。寿命においても、**免疫の低下**が一機に有害菌やウイルスに感染し急死するペットも少なくありません。
- ◆ 人間と同様のストレスがあるのだろうか、**生きる条件である食・水・空気も悪化**状況にあることは間違いありません。
- ◆ 当方でも多くのペットと触れ合うが、病名を持っているペットが多いことに驚かされます。特に**アトピー性皮膚炎**における原因は、理解しているが、**腸管の問題を意識して治療を行っている飼い主の少ない**ことに驚かされます。他の病気においても「免疫系」「自律神経系」「動脈硬化系」が原因となっているが、この根源も「**腸内細菌**」に大きく関与していることは間違いありません。
- ◆ また、犬や猫のペットにも人気種があり、その種を中心にブリーダーは取り扱い、その系統の新種も作り上げてきたことが、正常な出産ではなく**帝王切開で出産させることも少なくない**。帝王切開は、産道を通らないことで、母親の免疫移譲（産道の乳酸菌受菌で腸管免疫構成）が出来ず、アトピーをはじめ多くの疾患を罹患することが多くなっているようです。

3. アトピー犬と健康犬との腸管環境差

- ◆ 糞便検査では主に消化吸収の状態や異常、細菌の状態や寄生虫がいるかどうかなどが分かります。まずはウンチの見た目をチェックし、色・臭い・形・形状を調べます。
- ◆ 便の状態は食べ物によって変わります。お肉を食べるとウンチの色が黒っぽくなりますが、消化管内で出血がある場合もあります。ウンチの臭いが強い場合は、消化不良や病気である可能性があります。
- ◆ また、ウンチの硬さはウンチに含まれる水分によって異なります。消化の悪い食べ物を食べ過ぎてしまったりすると消化不良を起こし、水分の多いウンチになります。ウンチの形がない場合はポリープ等の腸疾患が考えられることもあります。
- ◆ 当方では、この糞便中の腸内細菌のバランスや重要菌の数、有害菌の数などから、そのペットの体環境を推察します。
- ◆ アトピー犬と健康犬との腸管環境の差は一目瞭然となっています。特に重要とされるエンテロコッカス属やラクトバチルス属などは、平均ですが約100~1000分の1の少なさでした。アトピー性皮膚炎症状の場合は、強い痒みという大きなストレスを受け、体内での活性酸素発生により、細胞崩壊や重要な腸内細菌などの減少も否めないために、有用菌が大きく減少するものとも予想できます。

4. ペットと乳酸菌

- ◆ 現代の犬は、散歩が少ない、家の中だけで生活することが多い、吠えると叱られる、床がすべるなど、日常生活の中でさまざまなストレスをかかえており、これらストレスが原因で便秘や下痢を続けるなど腸の問題を抱える犬が増えています。

- ◆ 愛犬のウンチの状態を見れば、健康かどうかはよくわかります。



犬達の腸は人間と同じように、たくさんの菌で満たされています。これらの菌は善玉菌と悪玉菌に分けられ、善玉菌が多いと食物の消化吸収がうまく行われ犬達の健康が維持できます。

犬の先祖である狼たちは狩をして生の肉を食べていました。その中でも内臓は彼らの大好物でした。この獲物の腸に含まれる内容物には、生きた菌がたくさん含まれていました。しかし、現在の犬達はドライフードを主食にしており、生きた菌を口にする機会がほとんどありません。

- ◆ 人間と同様に犬の健康は腸内環境の状態で決まるといっても過言ではありません。
- ◆ 腸内の善玉菌が増えれば、食物の消化吸収が促進され、良い健康状態を維持できます。

更に、腸壁に乳酸菌が貼り付き他の病原菌から犬を守り免疫力を強化します。

5. 乳酸菌の働き

- ◆ ・整腸作用
- ◆ ・腸の活動を高める
- ◆ ・食物の消化吸収
- ◆ ・便を肛門へ送る
- ◆ ・病原菌、腐敗菌の抗菌作用
- ◆ ・細菌、ウイルスからの免疫増強作用
- ◆ ・便秘、下痢の予防

- ◆ 乳酸菌は、整腸作用があり、腸の活動を高めて、食物の消化吸収を助けます。
- ◆ また、便を肛門に向かって送り出す蠕動運動を促し、便秘や下痢を防ぎます。

- ◆ そのほかにも、腸内を酸性に保って有毒物質を作り出す腐敗菌や病原菌の働きを抑える抗菌作用、発ガン物質の腸内での合成を妨げる抗がん作用、細菌やウイルスに対する抵抗力を高める免疫増強作用などがあります。

- ◆ 一方、大腸菌やウェルシュ菌、ブドウ球菌などの腐敗菌を悪玉菌といいます。これらは、たんぱく質を分解し、さまざまな有害物質を作り出します。
- ◆ 便の悪臭においてはこれら腐敗菌の作用で、様々な病気の根源になります。

6. 確実な改善へ導くには「オーダーDNA乳酸菌」

- ◆ 人には人の乳酸菌 犬には犬、猫には猫の乳酸菌が一番効果的というのは誰が考えても判ると思いますし、その差は歴然です。
- ◆ 犬や猫の種類は多く、大型・中型・小型とあり、体の大きさによって機能相違も出ており、出生国においても環境対応機能にも相違がある中、犬は犬、猫は猫と乳酸菌種類変更だけで、予想とおりの改善とは相成りません。
- ◆ よって、当方では、これまでの犬には犬、猫には猫と分けて他者商品との差をつけてきました。これからは、確実な結果をいち早く確実に達成させるために「オーダーDNA乳酸菌」をお奨めしたいと考えています。

オーダーDNA乳酸菌製造工程

オーダーDNA乳酸菌の製造過程



便採取
(10g程度)



菌選別
(50種類程度)



選択培養
(10~15種類)



食品化
(フリーズドライ)



摂取
(1g程度)

犬自身の菌を採取・培養した犬由来の生きた乳酸菌

オーダーDNA乳酸菌

ここが違う!!

7. 糞便検査告知

- ◆ 検査報告とウンチを見て我が子(ワンちゃん・ネコちゃん)の健康状態を見分ける資料をお渡しいたします。
- ◆ 健康犬との差を告知し、腸管の重要性を訴える
- ◆ 愛するワンちゃんネコちゃんのこんな症状思い当たることはないでしょうか？と質問する。
- ◆ ウンチのニオイや体臭、口臭がひどい
- ◆ ウンチを食べてしまう(食糞)
- ◆ 便秘や軟便など状態が安定していない
- ◆ 生え変わりの時期でもないのに、よく毛が抜ける
- ◆ 毛並みにツヤがなく、ボサボサしている
- ◆ 皮膚の状態が悪く、カサカサしている
- ◆ このような状態がひとつでも当てはまっているとすれば、将来的にワンちゃん健康に重大な障害が発生する可能性があります。
- ◆ 乳酸菌摂取の重要性を訴え、、、通常乳酸菌摂取、オーダーDNA乳酸菌摂取のご判断を仰ぎ進行いたします。

糞便検査報告書

糞便細菌叢分析レポート Feces Microbiome Analysis Report				
アイディマー株式会社 腸内細菌研究所 株式会社 ズーム				
Lab No.				
受検者名	氏名: ○○ ○○<◆◆ちゃん> 種別: 3 性別: メス			
Office	株式会社 ズーム アイディマー腸内細菌研究所			
Sample Size	5g SAMPLE TYPE:A			
Date Sampled	2013/12/5			
上野動物園内乳動物を中心とした夏場細菌叢分析結果は次の通りです。				
細菌属(群)	種	生菌数 (CFU/g)	基準生菌数 (CFU/g)	良否
エンテロコッカス	フェカリス	2×10^5	1×10^6	否
ラクトバチルス	ロイテリー	2×10^3	1×10^6	
大腸菌群	(有用)	1×10^5	1×10^6	否
ブドウ球菌群		1×10^4	1×10^7	否
バチルス		1×10^2	1×10^3	良
球菌		1×10^2	1×10^3	良
〔※〕腸内細菌叢の検査に関する培養と培養方法				
培地の種類	対象菌群	培養方法	培養日数	
BSの培地	ビフィズス菌		2~4	
NBGT培地	バクテロイデス	脱酸ガス加ステール	2~4	
NN培地	ウエルシュ菌	ウール法嫌気培養	2~4	
変法LBS培地	乳酸桿菌		2~4	
TATAC培地	腸球菌		2	
PEES培地	ブドウ球菌	好気培養	1~2	
P培地	酵母、真菌		1~2	
〔所見〕別紙に記載				

糞便検査所見

○○ ○○(◆◆ちゃん) 様

有用常在菌で、犬体に大きく関与するステロイドホルモンやビタミン・酵素などを産生し、一番重要とされているエンテロコッカス群や、有用大腸菌群の数が基準値より100~1000分の1となっています。また、その重要菌群のサポート役であるラクトバチルス群の数値も100分の1と低下しています。

症状の根源となる腸内環境は大きくバランスを崩しています。今の症状(アトピー性皮膚炎)の原因となっている可能性も大です。

このことから、乳酸菌を摂取されいち早い腸内環境整備をお奨めしたいところです。ただし、摂取してすぐに解決出来るものではなく、ミクロの菌群ですから増殖にも時間を要することになります。また、犬種などにもよりますが、季節の変化においてもその差は出て、夏場の好調と冬場の低調を意識しなければなりません。さらに、家畜での環境などにも左右しますので、お子様(◆◆ちゃん)の生活環境にも気を配り、出来るだけストレスのかからない環境づくりをお願いいたします。

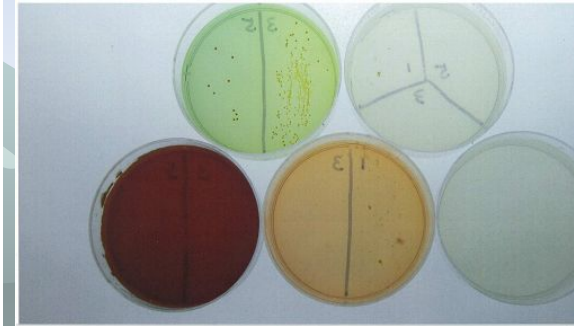
腸内環境の参考となる資料も同封いたしますので、お読みになってお子様の(◆◆ちゃん)のいち早い改善に努力してください。

お子様の症状が良くなったからといって、すぐに体全体の変化はありません。3回の季節を通過して症状が出なければ、体の正常安定となるでしょう。

お子様の一生のことを考えて、病気にならない体づくりを意識して、楽しい生活をお過ごしください。

平成25年12月〇〇日

アイディマー腸内細菌研究所
株式会社 ズーム



8. 人間と犬猫の腸管改善差

- ◆ 人間の腸管の長さは大人で約8～9メートルですが、中型犬では約2～3メートルで約3～4分の1の長さとなっています。ということは、同量の乳酸菌摂取での改善差は3～4倍のスピードで改善することになります。(机上ですが)
- ◆ 当方は、人のアレルギー性皮膚炎との関与もしていますが、犬のアレルギー症状改善の早さには驚かされます。
- ◆ 調査乳酸菌は、通常乳酸菌でしたが、オーダーDNA乳酸菌であれば、さらに早い結果が望めると推察しますし、その結果も確認しています。

9. サンプル提供

- ◆ 2年間「乳酸菌Daワン・ニャン」の製品(サンプルとして)提供させていただきます。
- ◆ 当方サイトに「乳酸菌Daワン・ニャン」の採用病院として掲載させていただければと思います。また、取材内容(他社と同様)もお願いしたいと思います(写真入り)。
- ◆ 利用形態の包装・梱包をいたします。(ラベル有無自由)
- ◆ 先生への質問コーナーも設置したいと思いますが、返答は先生への検閲後返信したいと思います。

10. 今後の当方の取り組み予定

◆ 乳酸菌関連協会との提携

乳酸菌関連の研究・開発、告知を目的とした団体研究の第一人者の方々との提携

◆ アトピー関連の情報提供

犬猫アトピー関連の情報提供→サイト・会報・セミナー

◆ 乳酸菌バンク

元気な時の乳酸菌を採取しておき、病気になったとき等に培養して摂取できる環境を作り上げる。